

信頼が原点

1学期も終わりに近づいた頃、1年生の担任は、数名の子供たちがプールに入ろうとしないことに困っていました。

それを聞いた校長は、1週間、時間をくれるようにと担任に申し入れました。担任は、子供たちの指導を校長に託しました。

校長は、子供たちをプールに誘う気配もなく、校庭や近くの公園で子供たちと楽しそうに遊んでいました。担任は怪訝に思いましたが、外から子供たちを見守っていました。

1日経ち、2日経ち、……5日目も子供たちは公園で遊び回っていました。そして、最後の日。

校長は、自ら海水パンツに着替えてプールに入り、プールの中程に立つと、子供たちに「お出で、お出で！」と手招きしました。なんと、子供たちは魅せられたようにプールに入り、校長のところへ寄って行きました。

うそのような話ですが、30年程前の実話です。

果たして、今の子供たちに通じるか否かは疑問ですが、子供の指導に当たり、いかに信頼関係が大切かということを如実に物語っています。

オーストリアの動物行動学者コンラート・ローレンツ(1903~1989)は、「人間は、信頼し、尊敬する人からのみ、伝統を受け継ぐようにプログラムされている。」と、語っています。